

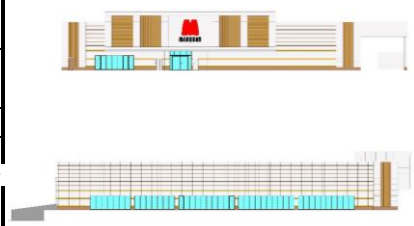
CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルハン新大蔵谷店 新築工	階数	地上1F
建設地	神戸市西区伊川谷町有瀬字栗林59	構造	S造
用途地域	第1種中高層住専、準工業、市街化	平均居住人員	600人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年6月26日
敷地面積	24,256 m ²	作成者	(株)朝日建築一級建築士事務所
建築面積	3,543 m ²	確認日	
延床面積	3,539 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0 配慮の概要 神戸市特定施設整備(特別特定建築物)に対応	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.8 配慮の概要 耐震性は建築基準法を満足している。また、機械・配管指示方法は耐震クラスBを有している。	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0 配慮の概要 1階建の低層とし、前面道路からは十分な距離の元配置されている。
その他の配慮事項 特に無し。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される